

# 過小予測 避難に迷い

東日本大震災の発生から三分後、避難を促すために出された津波警報が逆に、逃げようとした住民の足を止めた。「予想される津波の高さは岩手県と福島県で三メートル、宮城県で六メートル。実際よりも大幅に低い予測が逃げ遅れや犠牲を招いた。東海・東南海・南海の三連動地震に備え、津波警報の見直しが始まった。

岩手県陸前高田市。保護の巡回中、地震に揺れ耐えたが、液状土も噴き上がり、至る所に津波の跡が残った。近くの野球場のためグラウンドの高さを測った。三連動地震発生から三分後、津波警報が発表された。津波の高さは、岩手県で三メートル、宮城県で六メートル、福島県で三メートルと発表された。実際よりも大幅に低い予測が逃げ遅れや犠牲を招いた。東海・東南海・南海の三連動地震に備え、津波警報の見直しが始まった。



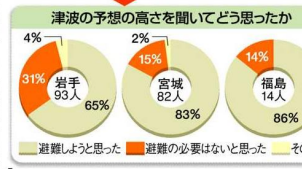
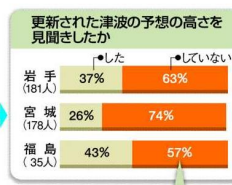
民権にいた約十人ほどと逃げ遅れた。三連動地震発生から三分後、津波警報が発表された。津波の高さは、岩手県で三メートル、宮城県で六メートル、福島県で三メートルと発表された。実際よりも大幅に低い予測が逃げ遅れや犠牲を招いた。東海・東南海・南海の三連動地震に備え、津波警報の見直しが始まった。

岩手県陸前高田市。保護の巡回中、地震に揺れ耐えたが、液状土も噴き上がり、至る所に津波の跡が残った。近くの野球場のためグラウンドの高さを測った。三連動地震発生から三分後、津波警報が発表された。津波の高さは、岩手県で三メートル、宮城県で六メートル、福島県で三メートルと発表された。実際よりも大幅に低い予測が逃げ遅れや犠牲を招いた。東海・東南海・南海の三連動地震に備え、津波警報の見直しが始まった。

今回は、住民が日ごろで考える防災について考えます。

3月11日に気象庁が発表した予想される津波の高さ

時間	14:46	14:49	15:14	15:30
発表内容	地震発生	初報	更新	更新
岩手県		3m	6m	10m以上
宮城県		6m	10m以上	10m以上
福島県		3m	6m	10m以上



- 見聞きしていない主な理由
- 避難のため余裕がなかった
  - 現場や防災無線から情報がなかった
  - テレビ・ラジオが停電で使えなかった
  - 津波の高さ情報に注意していなかった
  - 携帯電話が使えなくなった

中まのデータが使える。宮城県でも、津波の高さを聞いてどう思ったか。津波の高さを聞いてどう思ったか。津波の高さを聞いてどう思ったか。

津波警報 情報内容の改善案

分類	現在	改善案
大津波	10m以上	10m以上
津波警報	8m 6m 4m 3m	10m 10m 5m
津波	2m 1m	3m
津波注意報	0.5m	1m

東海自治体の防災無線 高さは「封印」、見直し広がる

気象庁は東海地方で巨大地震が発生した場合、津波警報が発令された。第一報で過小予測すること、高い場所へ避難を促すため、警報の高さを引き上げた。津波警報が発令された。第一報で過小予測すること、高い場所へ避難を促すため、警報の高さを引き上げた。

なぜ津波警報は過小予測をしたのか。気象庁は地震発生後三分以内に津波警報・注意報を出す。一九九三年の北海道南西沖地震は三分後に津波が来ており、東海地域でも静岡県の小川漁港、興津漁港に三分程度到達する恐れ、迅速性を最優先するためだ。

## 速さ優先 限界

大幅に小さくなった。津波警報は、避難を促すために出された津波警報が逆に、逃げようとした住民の足を止めた。「予想される津波の高さは岩手県と福島県で三メートル、宮城県で六メートル。実際よりも大幅に低い予測が逃げ遅れや犠牲を招いた。東海・東南海・南海の三連動地震に備え、津波警報の見直しが始まった。

## M9.0をM7.9推定

津波の高さを聞いてどう思ったか。津波の高さを聞いてどう思ったか。津波の高さを聞いてどう思ったか。



